

北毛保健生協組合員現勢

2014年5月末現在
 組合員…………… 16,945人
 出資金…………… 6億5865万円
 1人平均出資金…… 38,870円

組合員自身の力で組織を
 大きく強くしましょう！



発行所
 北毛保健生活協同組合
 〒377-0005 渋川市有馬237-1
 TEL 0279-24-2141 FAX 0279-24-8873
 発行責任者 高野昭夫
 編集責任者 ぐらしと医療編集委員会
 印刷所 上武印刷株式会社



260人が会場を埋めた第53回通常総代会

第53回
 常会
 総代

利用を増やし
 生協を大きく強く、
 未来へ

第53回通常総代会は、6月21日午後1時30分よりアネーリ渋川で開催されました。総代・代理出席を併せ実出席175人、委任状と合計し出席率は95・6%でした。

まず議長に北橋支部の梅沢芳夫・山田彬両総代を選出し総代会は始まりました。

冒頭、高野理事長が「新病院を竣工する年であり、世紀の大事業が仕上がり、14年間剰余を確保し、13の支部の奮闘で出資金2億3千万円を増やした力

第53回通常総代会
 報告(概要)

- I 総代数及び出席総代数
 1. 総代総数 228名
 2. 出席総代数 218名
 (本人出席151名、代理人出席24名、総代委任43名) その他傍聴48名



議長団(山田彬さん・梅沢芳夫さん)

II 議事経過

1. 提案報告者
 小澤厚専務理事、堀地徳男特定監事
 2. 発言者
 荒木昭夫さん、品川待子さん、堀地如子さん、中野良枝さん、峯岸テル子さん、小林右一さん、町田孝比古さん、吉澤八千代さん、小池春雄さん、唐澤崇子さん、足立みどりさん 以上11名
 《荒木昭夫さん発言要旨》
 3ヶ年計画の数値の差異、長期計画の経常剰余金目標値、剰余金確保に関する記述及び予算案、



町田孝比古さん

私は総代会総代として第53回通常総代会に初めて参加しました。議案書が早く届いたため、すべての議案を事前に読むことができましたが、数字に関してはなかなか理解する事ができませんでした。

支部活動の貴重な
 経験の討論を！

有馬支部 町田 孝比古

民主医療機関であればこそ行える『病児病後児保育』、『無料低額診療』は評価

第53回通常総代会に参加して

榛東支部 柳田 キミ子

質疑、意見または感想であったり、希望の提案の数々に積極的な力強さを感じました。そのひとつひとつに丁寧な回答を検討への姿勢が示されたと思います。

より充実した地域医療の担い手として期待される新病院オープンの時、支部で！地域で！自信と誇りをもって、一層の行動に取り組みたいと決めました。

厚労省は年金財政の検証結果を発表した。現役の勤労者の手取り収入に対する年金の給付水準は、将来も50%を確保できると試算したが、給付水準は今年度の62・7%から下がり続け、30年後にはどの試算でも50%ギリギリになっている。

政府は2004年の年金改定で、50%維持を明記し「100年安心」と言っていたが看板倒れの実態が明らかになった。この試算をもとに年金の改悪を狙っている。

「消費税は社会保障に使う」と言って4月から消費税が8%に引き上げられた。しかし、医療では、診療報酬の改定で、入院患者の追い出しが強まり、介護保険も利用しにくい状況が強められる。

社会保障の改悪をすすめる一方、来年度から法人税を現在の35%から20%台に引き下げるといふ。現在でも大企業は、優遇税制で20%台以下の税金しか払っていない。消費税の引き上げや社会保障の改悪でさらに大企業に奉仕しようとしている。腹の立つ毎日である。

今こそ、いのちとくらし・平和を守る方針を持つ医療生協の運動を大きく広げよう。

(山口)



厚労省は年金財政の検証結果を発表した。現役の勤労者の手取り収入に対する年金の給付水準は、将来も50%を確保できると試算したが、給付水準は今年度の62・7%から下がり続け、30年後にはどの試算でも50%ギリギリになっている。

あゆみを未来へ組合員とともに

60年シンポジウム

日時…6月7日(土) 14時
場所…渋川中央公民館2階
講義室

コーディネーター

西田英明氏

シンポジスト

峯岸テル子氏

『北毛生協結成当時』

小野實氏

『小野上村での診療所建設に向けた運動』

藤井喜久男氏

『機関紙配布100%を目指した』、『北毛さ

さえあいの会の活動』

橋本真也医師

『介護事業の展開』

60年シンポジウムは4人のシンポジストのもと全体81人の参加で開催されました。

シンポジストからは北毛保健生協創設期の話から無医村であった旧小野上村での取り組み、北毛ささえあいの会の活動と機関紙配布率100%を目指した北毛支部での取り組み、北毛における介護・福祉事業のあゆみと今後の展望について多岐にわたる内容が話されました。

『あゆみを未来へ組合員とともに』のスローガンのもとで

60周年シンポジウム感想

もとフロアからも8人の活発な意見交換が行われ、会場に集まった参加者も新病院建設に向けた意識を新たに、各支部に持ちかえる事ができました。

先輩たち、高齢独居で通院や草むしりなど身のまわりの事が困難な人に対するささえあいの会の発足から現在に至るまでの取り組みについて話を聞く事ができました。

これからの70年80年を職員、組合員で力を合わせて頑張っていきたいと思います。

北毛病院になるまでの生い立ちをあらためて知ることができて良かった。

地域の人が協力して今の病院に至ることを知って、めげずにここまでやってきてくれたことにとても感謝しなければならぬと感じた。

60周年という期間はすごく長い期間だと思うし、

また、班会などにも積極的に参加して、地域の人の意見を聞いて、地域の人が安心して病院を利用して頂ければ良いと思っ

た。

北毛保健生協では様々な事業が展開されていて地域住民の医療・介護を支えていることを知ることができました。

『22歳女性職員』

北毛病院、診療所の立ち上げの時のお話を聞き、少人数で苦

勞されてきた

支部の研修旅行で長野県伊那食品工業「かんでんぱ」を訪れ、北毛保健生協に活かせる気づきがありました。

結果はついてきました。

北毛保健生協の財産は2種類。一つは建物や設備など目に見えるもの。もう一つは「目に見えない信用やいい評判」、これを作るのは職員です。職員が気持ちよく働いて、力を十二分に発揮できる職場にすることが大事です。そうすれば、いい医療・福祉ができて評判が高くなり利用者が増えます。それによって、地域社会に貢献することにもなります。職員が力を発揮するために、私達組合員は、職員の頑張り感謝の気持ちを伝え、経営の安定のために積み立てや増資を増やすことで応援していきたいです。

金島支部 品川 待子

第12回 支部交流グラウンドゴルフ大会

5月29日に第12回支部交流グラウンドゴルフ大会が吉岡ケイマンゴルフ場と緑地グラウンドにおいて開催されました。13支部より34チームの204人の参加で36ホールでプレイし、支部間の交流を深めました。

順位	チーム名
1位	金井南A
2位	有馬A
3位	八木原B



表彰を受ける各支部の選手たち

2013年度 保健学校受講生の同窓会

入梅の中、幸い良い天気恵まれて、渋川広域消防北分署よりAED(自動体外式除細動器)応急手当を学びました。意識を失って最初の10分間の手当てが大切な事を学習し、全員で心臓マッサージの指導を受け、いざという時に慌てないようにと教えられました。次回は、AEDの設置場所を調べることを宿題と、同窓会長の石関さんのラベンダーの手作り講習で、皆さんと会えるのを楽しみに和やかに終わりました。

《金島支部 福島由紀子》



6/10 有馬会館にて15名の同窓生が集まりました

かんでんパパから学ぶ

金島支部役員旅行

日時：5月27日、28日
場所：長野県伊那市『伊那食品工業株式会社』
参加人数：21人



伊那市の羽広荘にて

支部の研修旅行で長野県伊那食品工業「かんでんぱ」を訪れ、北毛保健生協に活かせる気づきがありました。

結果はついてきました。

北毛保健生協の財産は2種類。一つは建物や設備など目に見えるもの。もう一つは「目に見えない信用やいい評判」、これを作るのは職員です。職員が気持ちよく働いて、力を十二分に発揮できる職場にすることが大事です。そうすれば、いい医療・福祉ができて評判が高くなり利用者が増えます。それによって、地域社会に貢献することにもなります。職員が力を発揮するために、私達組合員は、職員の頑張り感謝の気持ちを伝え、経営の安定のために積み立てや増資を増やすことで応援していきたいです。

金島支部 品川 待子



プロジェクターを用いて北毛の介護事業を振り返る橋本先生

また、班会などにも積極的に参加して、地域の人の意見を聞いて、地域の人が安心して病院を利用して頂ければ良いと思っ

た。



大盛況で2階講義室が満員になりました

医療講座



人生の終わりを考えること

内科医師 飯島 研史

「終活」という言葉を聞いたことはあるでしょうか。「就活（＝就職活動）」「婚活（＝結婚活動）」などに続いて週刊誌などから生まれた言葉のようです。意味は、「人生の終わりのための活動」なのですが、その実態は様々です。

ビジネスチャンスと考える企業の手にかかること、自分の葬儀やお墓、相続、保険などについて準備する」などがピックアップされる、講演会や相談会、見学会などが行われているよう

ですが、私がここで紹介したいのはそれとは少し違います。

皆さんは、自分の人生をどう終えたいか、考えたことがありますか？ また、自分の家族が、ご自身の人生の終え方をどうしたいのか知っていますか？

一般的に、高齢になればなるほど病気になる可能性が増えていきます。事故や突然の病で倒れることもあるでしょう。私たちが命に関わる救急患者さんの受け入れも行っておられます。

し、入院患者さんの容態が急に悪化する事も珍しくはありません。残念ながら有効な治療を行えないときもあります。そのような時に、「0・01%でも可能性があれば、どんなことをしても助ける努力をして欲しい」という方もいれば「できるだけ苦しい思いをさせないで欲しい」という方もいらっしゃるため、私たちがその場でご家族に相談をするようにしています。しかし、緊迫した短時間のうちに納得のいく結論

を出すのは難しいことです。

今回、私が提案したいことは、元気なうちからご自分の人生の終え方について考えてみて欲しいということです、それをご家族や周りの方々と話し合ってみてはどうかということなんです。

「最期をどこで誰と過ごしたいのか」「自分が判断できないときに誰に代理してもらおうか」「治療や蘇生などに對する考え」などが大切だと思えますが、個人によって「できるだけ最期ま

で口からご飯を食べたい」だとか、「愛犬と一緒にいたい」だとか、様々な希望もあると思います。その時に果たして、「ご希望を全て実現できる」とは限りませんが、私たちができるだけの協力をさせて頂きたいと思

います。

実は、これは医療の高度化と高齢化が進む先進国では共通の課題になっていいます。「Living will」「Advance directive」「Advance care planning」などと呼ばれています。

新任有馬一城医師紹介



私は1978年に鹿児島大学卒業後、1990年に眼科に転科するまでの13年間を、鹿児島民医連の外科医として過ごしました。

60歳を機会に、もう一度民医連の医師として働きたいと思いい、2014年5月に景観の良いこの群馬県渋川市にやってきました。

検診を主とした外来で頑張ります。宜しくお願いたします。

新病院建設日誌

現場の景色もいっぺんしました。

6月4日から始まった鉄骨工事は、雨の影響もあり現場調整しながら、ほぼ順調に推移しています。工事は9つの工区に分け順次鉄骨を組みます。歪みを調整し1本1本のボルトを確実に、最高の病院を造るために現場の職人さんも奮闘しています。

新病院への引越しは2015年3月を予定しており、その準備もさることながら、大きなプロジェクトも同時に進行しています。今回は、新病院の記念式典と内覧会を成功させるための実行員会を紹介いたします。



鉄骨工事の様子

班会特集

6/28 榛東腹八分目
班会 たけのこごはん、
ふきの煮物、しゃけのチ
ャンチャン焼き



6/3 豊秋本石原班
会 和紙でかわいい子
守り人形を作りました

6/10 豊秋手川班
会 折り紙の傘を持
って「ハイポーズ」



6/19 榛東い
いききサロン
振り込め詐欺の
出前講座



6/23 上有馬神戸班
会 尿検査をやり新病
院建設について学習

6/26 吉岡・金島合同
班会 吉岡、金島合同でラ
ベンダースティック作り



《6月班会開催一覧》

支部名	班名	人数	班会内容
八木原	北合同	5	レインボー体操
	合同	6	レインボー体操
豊秋	西浦	7	脳いきいき
	畑ヶ中	11	便潜血
	中村前田	4	脳いきいき
	本石原	3	和紙の人形づくり
	手川	12	折り紙の傘づくり
吉岡	ウォーキング	5	ウォーキング
	コスモス	11	健康体操
	ダンベル	12	ダンベル体操
	ABC	3	憲法学習
半田	わくわく	17	ラベンダーづくり
	ものづくり	13	文化作品展におけ作品づくり
赤城	溝呂木	7	脳いきいき
	腹八分目	8	ピクニック弁当
有馬	南有馬	5	ダンベル体操
	上有馬神戸	9	尿検査・新病院建設
子持	合同	7	新病院建設見学
	いいききサロン	17	大人の防犯出前講座
榛東	腹八分目	7	調理

平和映画会



〈題名〉ひまわり
 〈上映〉8月7日(木)
 午後2時30分、午後6時30分の昼夜2回
 〈会場〉
 渋川市民会館 大ホール
 〈入場料〉
 大人1,000円 高校生以下800円
 〈主催〉
 北毛保健生活協同組合 (24-2141)
 生活協同組合コープぐんま (24-5312)
 渋川北群馬民主商工会 (22-1482)

映画「ひまわり」紹介DVD感想.....

支部運営委員会でDVDをみんなで見た。とっさに頭に浮かんだのは「パパ、ママ、バイバイ」だった。宮森小学校でも、横浜でも米軍機のトラブルが原因。しかもパイロットは事前に脱出、放棄された機体だけが住宅地に向かっていった。宮森では小学生含む17人が、横浜では当時1歳と3歳の幼児、そして母親が犠牲となった。「積極的平和主義」とは、こういう悲劇を2度と繰り返さないことだ。今、改めてこの映画の訴えに耳を傾けることが大切ではないか。

(豊秋支部・阿久沢 暁)

